

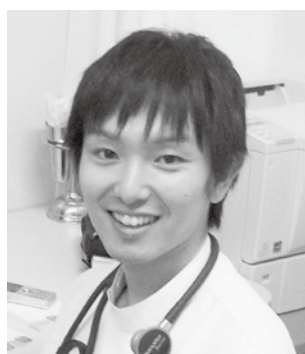


問い合わせ先
岩美病院 事務局
☎73-1421

AEDで助かる命

～目の前の人／
大切な人が倒れたら～

岩美病院 内科 **むくだ けんご**
棕田 権吾



こんにちは、岩美病院 内科 棕田（むくだ）です。残暑の厳しい日が続いておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。まだまだ油断せず、熱中症にならないようこまめな水分摂取をお忘れなく。

今回は辛いけども備えておかねば対応できない、目の前の人／大切な人が倒れたときの話をしましょう。

AED（自動体外式除細動器）という機械をご存知でしょうか？不整脈で大切な人が倒れたとき、その人の命を救うことができる機械です。公共施設などで設置が進んでいるので、目にしたことのある方も多いのではないかと思います。岩美病院でも間もなく設置される予定です。プラスチック製カバンのようなもので壁に設置してあります。カバンを開けると音声案内で使い方を教えてくれる、手に取れば皆さんも簡単に使える機械です。



AEDの使い方

① AEDの準備

AEDを倒れている人の頭の横に置き、ケースから本体を取り出します。

② 電源を入れる

フタを開けると自動で電源の入るものもあります。電源が入ると操作の手順を音声とランプで教えてくれます。

③ 電極パッドを貼る

絵のように電極パッドを貼りつけます。貼る場所は電極パッドにも絵で表示されています。電極パッドの間に隙間ができたり、アクセサリーの上から貼らないよう気をつけます。

④ 心電図の解析

電極パッドと機械をつなぐと（機械によっては、最初からつながっているものもあります）、自動的に心電図の解析が始まります。このとき誤作動を防ぐため、倒れている人に触れないよう注意します。

⑤ ショックボタンを押す

ショックが必要な場合、音声告知が灯ります。「ショックボタン」が点灯したら、倒れている人に誰も触れていないことを確認してボタンを押します。

① AEDを準備する



② 電源を入れる



③ 傷病者にパッドを貼る



④ 傷病者から離れる（心電図の解析中）



⑤ 除細動の指示がでたらボタンを押す



機械が判断してショックが必要な場合は、ボタンを押しても電気が流れることはないのです。誤った電気刺激を与える心配はありません。

しかし、AEDも万能ではなく、それを使うのはあくまで私たち人間です。AED以上に重要なのは皆さんの行動です。

大切な人が倒れたとき、近所の人に相談するより、まっ先に119番通報して、AEDを探す（探してもらって）、119番の指示に従う。これをいかに早くできるかが、非常に重要です。

もちろん、院内で万が一、目の前の方が倒れた際にはスタッフが対応します。すぐに大きな声でスタッフを呼んでください。院内では定期的に対応のような状況での対応トレーニングを実施しております。

皆さんの少しの勇気と知識が、大切な人を救うのに最も大切です。私たちと皆さんで、岩美町の健康を守っていきましょう。